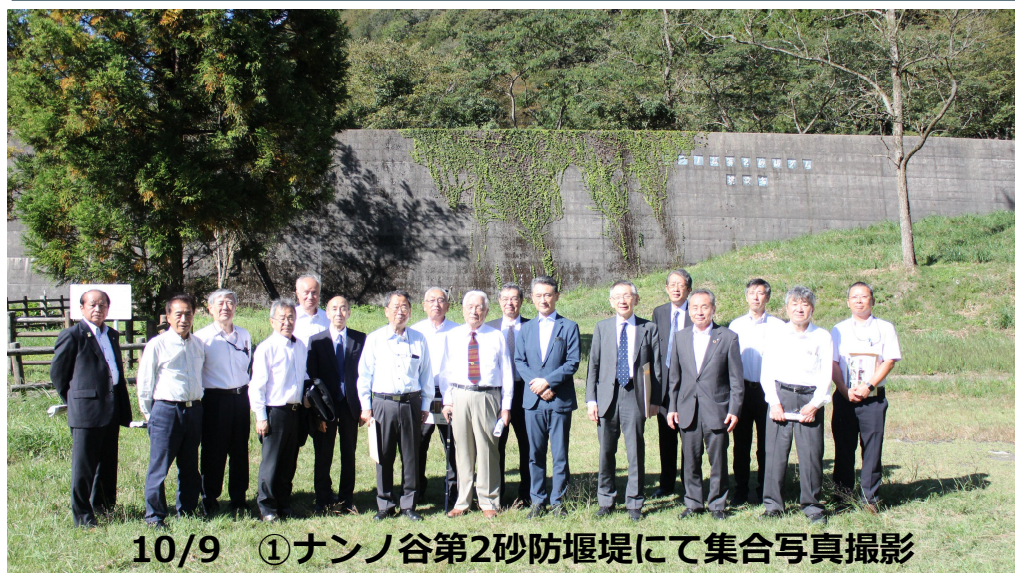


<概 要>

- R7年10月9日（木）～10日（金）にかけて、全国治水砂防協会による理事・顧問会議及び現地視察が、越美山系砂防事務所管内で開催され、越美山系砂防事務所は現地説明等の対応をした。
- 砂防協会の池田副会長（高知県津野町長）、岡本副会長（元砂防部長）、大野理事長（元砂防部長）ほか、理事9名（池上湧水町長、藤澤生坂村長、村上蔵王町長、吉田八頭町長、有識者など）、顧問2名、3名の事務局員、本省・國友砂防部長、本局・岩田土砂官が現地視察及び本会議に出席された。
- 本会議では、運営事務のほか、岐阜県砂防協会の西脇関ヶ原町長（会長）、岡部揖斐川町長、藤原本巣市長、石田大垣市長、竹中池田町長が合流し、地域の土砂災害への課題、取組状況、要望等を説明し、意見交換をされた。
- 現地視察では、1日目にナンノ谷大崩壊地及び改築工事現場、東横山地すべり対策箇所（岐阜県より説明）、2日目は根尾谷断層及び観察館、鷺巣谷第1砂防堰堤（映像）、宇津志谷第1砂防堰堤を紹介し、越美管内の地形・地質条件の厳しさ、砂防堰堤等の施設のダイナミックさ、多彩さを実感していただいた。



10/9 ①ナンノ谷第2砂防堰堤にて集合写真撮影



10/9④ 理事・顧問会議における副会長挨拶



10/9②
工務課による
ナンノ谷大崩壊地の説明



10/9③
岐阜県による
東横山地すべり対策の説明



10/10①
語り部・杉山氏による
根尾谷断層の説明



10/10②
調査課による
鷺巣谷第1砂防堰堤の説明